

【No.R●-●-●】 みどりの食料システム戦略推進交付金のうちグリーンな栽培体系への転換サポート

産地戦略

実施期間 令和6～10年度

実施主体 福井地区園芸タウン推進協議会
都道府県 福井県
対象地域 福井市、永平寺町
対象品目 ネギ



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

該当するものに●を付してください。

化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

現在、福井管内の白ネギの栽培では、化学肥料が多く使用されており、環境に配慮した園芸生産が遅れている状況となっている。また、白ネギは栽培期間が長期にわたることから、動力噴霧機やブームスプレーヤーによる防除と手取りや除草剤散布による除草に労力がかかり、省力化が課題となっている。本地区において、環境にやさしい栽培技術に省力化をプラスした農業を「グリーン農業」と位置づけ、福井管内の農業者がグリーン農業に取り組むことができるよう、今回の戦略で示した技術を、地域で取組可能な共通技術として普及拡大していく。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	←→ 基肥			←→ 追肥・土入れ(土寄せ)				←→ 収穫・調製				←→ 圃場準備	
技術名				←→ 農薬散布									



グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	←→ 定植			←→ 追肥・土入れ(土寄せ)				←→ 収穫・調製				←→ 圃場準備	
技術名		←→ 有機質肥料の使用(追肥)											
		←→ ドローンでの農薬散布											

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R10	備考
(参考) 対象品目の作付面積 (ha)	19.6	▶ 20	
グリーンな栽培体系の取組面積 (ha)	1.6	▶ 10	
環境にやさしい栽培技術の取組面積 (ha)	1.1	▶ 9	
省力化に資する技術の取組面積 (ha)	0.5	▶ 1	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	背負い動噴、ブームスプレーヤー等での防除	▶ ドローン防除	労働時間の削減
環境	化学肥料のみの栽培	▶ 追肥で有機質肥料を使用	化学肥料の使用量低減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	ドローン防除による農薬散布時間削減	42分/10a	▶ 25分/10a	慣行栽培の農薬散布時間 (動力噴霧器、6回) 目標値 ドローン防除への切替 (切替5割、5割分の散布時間1/6)
環境	化学肥料使用量の低減	N=16kg/10a	▶ N=9kg/10a	現状値 慣行栽培の施肥基準 目標値 追肥を有機質肥料に代替
			▶	
			▶	

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する
(有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする)

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

管内でのグリーン農業の普及、定着に向け、今回の実証結果をHP等を活用して、生産者へ広く周知を図る。また、栽培講習会や時期別管理情報の発信を行う際に、グリーン農業技術を随時紹介し、取り組みを促していく。

関係者の役割

関係者名	福井県福井農林総合事務所	JA福井県	福井市 永平寺町	
役割	技術の普及 ・栽培講習会の開催 ・管理情報の発信	技術の普及 ・栽培講習会の開催 ・管理情報の発信	技術普及に向けた支援	